

広島県経済の動向

令和4年3月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年	R4年	
	12月	1月	2月
基調判断	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる		景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	
設備投資	持ち直しに足踏みがみられる		持ち直しの動きがみられる
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる		感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる
個人消費	このところ持ち直している		このところ持ち直しに足踏みがみられる
住宅建設	おおむね横ばいとなっている		このところ弱含んでいる
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している		

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和4年2月17日公表)】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R3年	R4年	
	12月	1月	2月
基調判断	持ち直しの動きがみられている		
輸出	持ち直しの動きがみられている	持ち直している	
生産	持ち直しの動きがみられている	持ち直している	
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	弱い動きがみられている		
個人消費	持ち直しの動きがみられている	持ち直しの動きはみられるが、足もとでは、サービス消費を中心に下押し圧力が強まっている	持ち直しの動きはみられるが、サービス消費を中心に下押し圧力が強い状態にある
住宅投資	持ち直している		持ち直している

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年3月3日公表）】

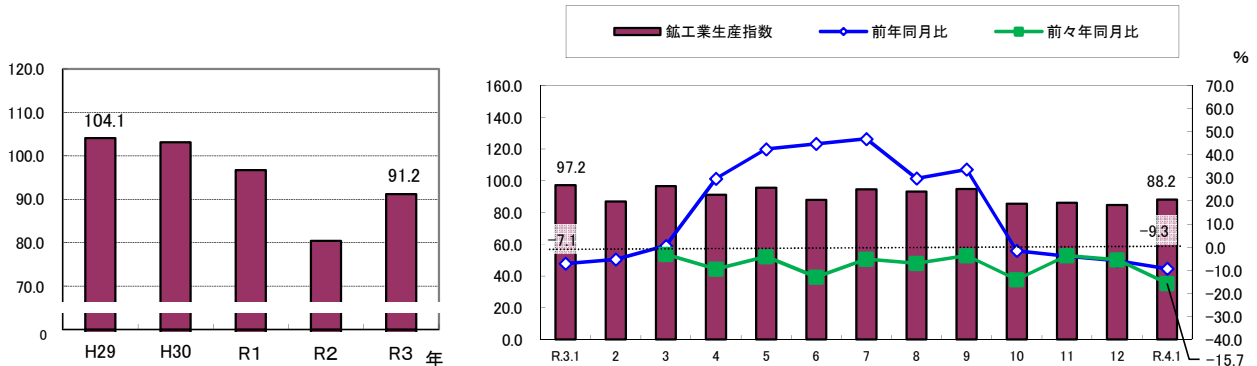
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年1月)

1月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は88.2で, 前年同月比で9.3%減少, 前々年同月比15.7%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

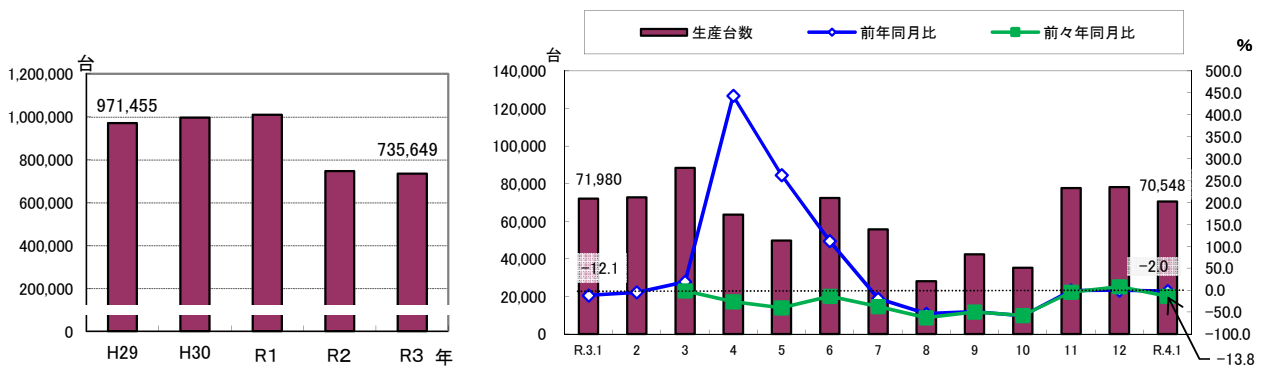


2 自動車(令和4年1月)

1月の国内生産台数は70,548台で, 前年同月比で2.0%減少, 前々年同月比13.8%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

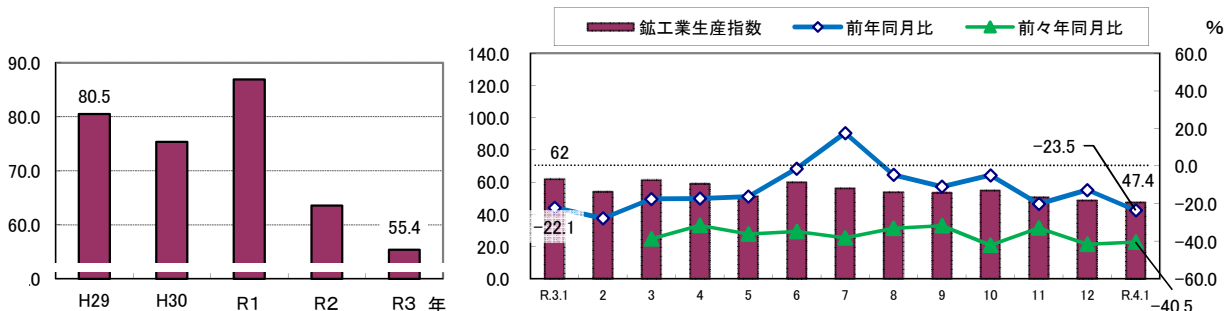


3 造船(令和4年1月)

1月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は47.4で, 前年同月比で23.5%減少, 前々年同月比40.5%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

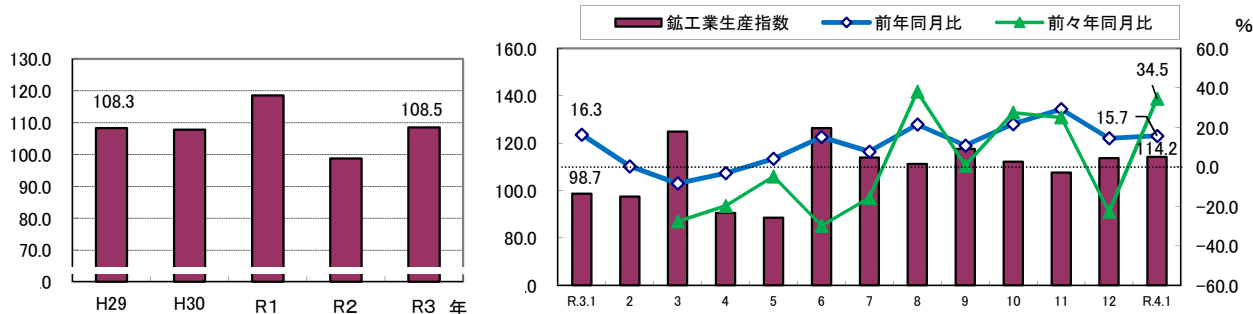


4 一般機械(令和4年1月)

1月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は114.2で, 前年同月比で15.7%増加, 前々年同月比34.5%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

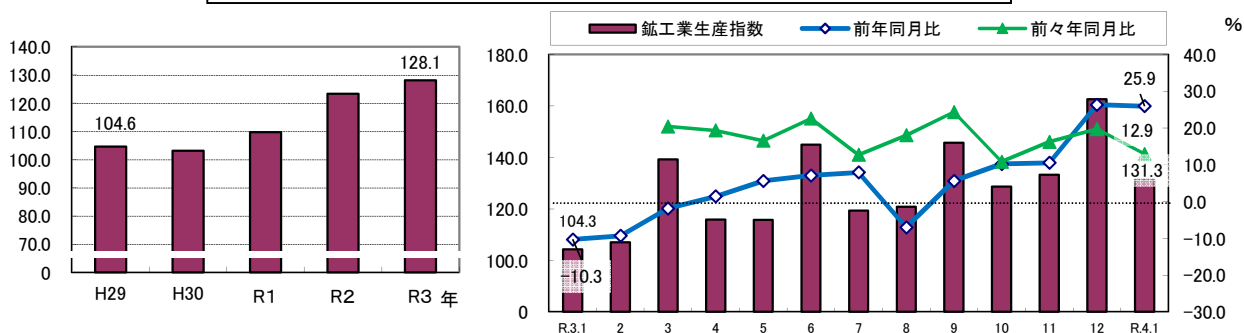


5 電気機械(令和4年1月)

1月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は131.3で, 前年同月比で25.9%増加, 前々年同月比12.9%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和3年1月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年2月15日時点）】

1 概況

全体的には、新型コロナウイルス(オミクロン株)感染症拡大によって、まん延防止等重点措置が適用された影響が大きく、景気は下降傾向となっている。原油価格の高騰とともに原材料の不足や価格上昇により、収益が圧迫されている業種が多数見られる。また、海外からの部品や商品の入荷遅れを懸念する業種もある。依然として、先行き不透明感が強く、引き続き今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比14.2%減少と7ヶ月連続での前年割れとなった。マツダ車は同16.9%減少と1ヶ月ぶりの前年割れとなり、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比6.2%減少と5ヶ月連続で前年割れとなった。

木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比4.2%増加となり、広島県内の着工戸数は前年同月比11.0%増加となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	12月の景況感	1月の景況感
食料品	やや悪い	普通
繊維・衣服	やや悪い	悪い
木材	やや好況	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや好況	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	やや悪い	やや悪い

業種	12月の景況感	1月の景況感
一般機械器具	普通	普通
電気機械器具	やや好況	普通
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	悪い	悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	12月	1月	増減
好況	0	0	0
やや好況	3	0	▲ 3
普通	2	6	4
やや悪い	13	11	▲ 2
悪い	2	3	1

3 前月(12月)から変化のあった主な業種

業種	12月の景況感	1月の景況感	変化の理由・状況
食料品	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・1月は、後半に伸びてきて、前年と比べて6%程度増加となった。新型コロナウイルス感染者数が高止まりしている影響で、また売れなくなることも予想される。原材料および資材、人件費をはじめ経費が高くなって収益を圧迫している。 <p>【広島県東部菓子商工業協同組合】</p>
繊維・衣服	やや悪い	悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置も終了し、今後景気が上向くことを期待したが、原油価格をはじめ、あらゆるものの値上げが起こりつつある。コストの増加が懸念され、売値に転嫁できるかが重要となる。 ・原料高の中でも、特に綿花の高騰が続いている。糸値も高騰しており、引き続き原料高にどう対応するかが課題となる。 <p>【(一財)広島県織物工業会】</p>
木材	やや好況	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の着工戸数は1,818戸で、前年同月比11.0%増加、うち持家は459戸で8.0%増加、貸家は725戸で12.8%増加、分譲は617戸で8.4%増加と、県全体の住宅着工動向は9カ月連続の増加となった ・地域別では広島市が987戸で前年同月比30.4%増加、廿日市市は68戸で51.1%増加、呉市は49戸で36.1%増加の一方、福山市は311戸で6.0%減少、東広島市は188戸で9.6%減少と地域間で差が見られる ・ウッドショックによる木材の品薄はほぼ鎮静化し、プレカットの受注も堅調に推移しているが、住宅ローン減税の駆け込み需要の反動や、針葉樹合板・住宅設備機器の品薄、職人不足などで今後の受注減を懸念する声や、業者間の格差の拡大、来期の業況悪化を心配する企業もあり、引き続き今後の需給動向を注視していく必要がある。 <p>【広島県木材協同組合連合会】</p>
プラスチック製品	やや好況	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、設備操業度が上昇傾向にあるが、海外からの部品調達状況が懸念される。人手不足で、残業や休日出勤等で対応している。原材料等の価格高騰で、採算性は悪くなっている。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
電気機械器具	やや好況	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・今月の売上は前月比10%減少、前年同月比5%増加となった。電子部品の仕入れに困難な状況が続いている。そのため、車載関係の売上状況にもマイナスの影響が出ている。発注している生産設備が入らないため、設備投資計画が遅延気味である。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>

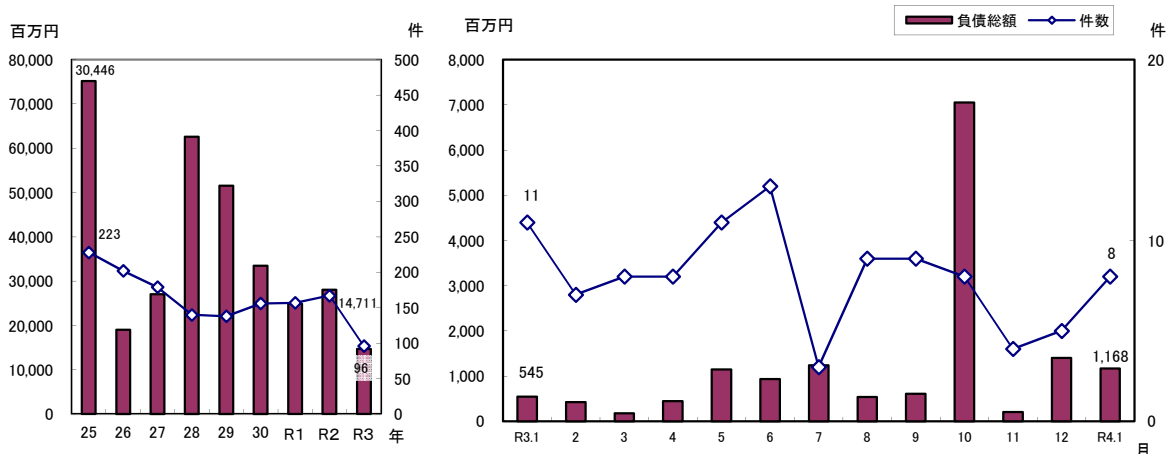
IV 企業倒産状況(令和3年1月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が8件、総額11億6,800万円であった。
- ・前月比で件数は3件増加し、負債総額は2億3,300万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は3件減少し、負債総額は6億2,300万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和3年11月	令和3年12月	令和4年1月
件 数 (前年同月比)	4件 (55.6%減)	5件 (54.5%減)	8件 (27.3%減)
負債総額 (前年同月比)	205百万円 (75.4%減)	1,401百万円 (122.0%増)	1,168百万円 (114.3%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別, 月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、建設業が2件、サービス業・その他が各1件となった。負債総額では、卸・小売・飲食業、サービス業、建築業、その他の順となった。

3 原因別

原因別では、シワ寄せが4件、販売不振が2件、放漫経営・他社倒産余波が各1件であった。

4 今後の見通し

令和4年1月度の倒産件数は前年同月比3件減と、4ヵ月連続減少となった。令和3年度（4月～1月まで）に入っても各種支援効果によって倒産件数は10ヵ月中、8ヵ月が前年同月を下回っており、引き続き減少傾向にある。

令和4年に入り、オミクロン株による感染拡大で新型コロナウイルスの感染者数は増加の一途をたどり、全国34都道府県には「まん延防止等重点措置」が適用されているが、2月3日には全国1日の新規感染者数が10万人を超えており、未だ収束時期は不透明である。広島県内では1月9日から「まん延防止等重点措置」が適用され、期間は2月20日まで延長となっており、既に影響を大きく受けている飲食店及び関連企業や観光業界へのダメージの深刻化が懸念される。また、急激な感染者数の増加により、濃厚接触者も大幅に増加したことから生産減少や休業を余儀なくされる企業も出ており、固定された業種に限らず、影響が広がっている。

また、高騰する燃料価格については「燃料油価格抑制制度」が発動され、価格低下が期待されるものの、今後も食料品など様々なモノで値上げが発表されている。人件費においても令和3年10月に最低賃金が引き上げられたほか、慢性的に人手不足の状態が続いている先では、受注が回復した場合も、資材等の高騰による収益性低下や人手不足により受注への対応が困難となる可能性も高く、業績回復は容易ではない。

このような厳しい環境下で、新型コロナウイルスの影響の長期化によって支援効果が薄れて資金繰りが逼迫する先の増加などが危惧され、息切れ倒産やあきらめ型の倒産が押し上げる形で、これまで抑制されている倒産件数が今後、増加していく可能性が高まっている。

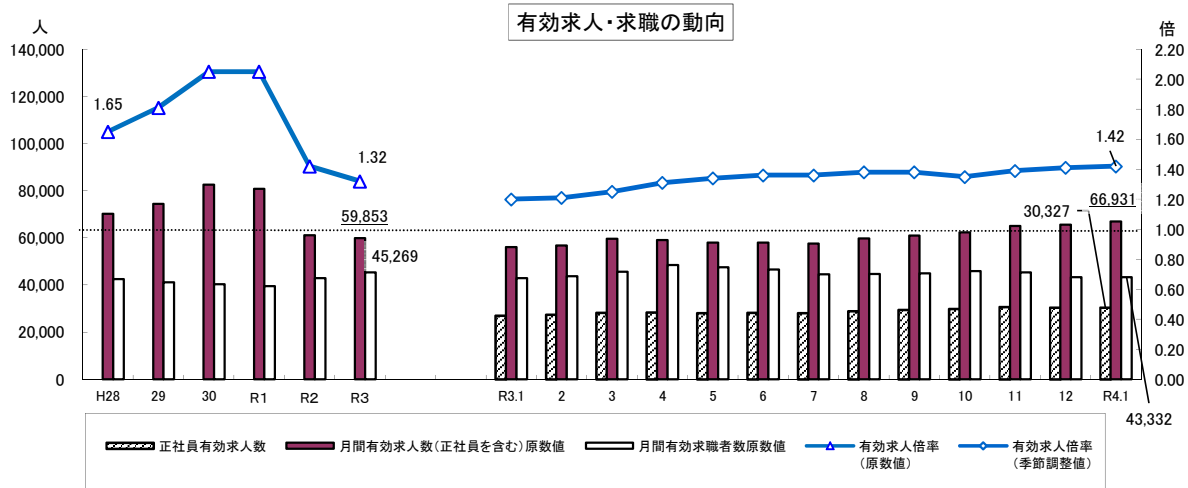
【(株)東京商工リサーチ(2月15日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和4年1月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和3年11月	令和3年12月	令和4年1月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.39倍 (+0.02ポイント)	1.41倍 (±0.02ポイント)	1.42倍 (+0.01ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.13倍 (+0.15ポイント)	1.18倍 (+0.16ポイント)	1.17倍 (+0.12ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

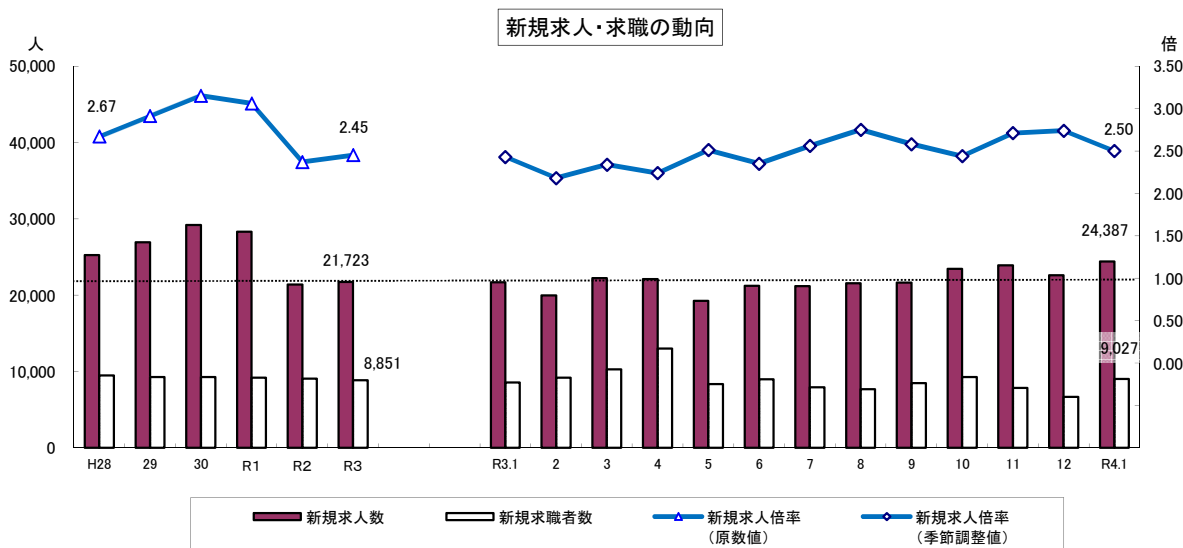
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和3年11月	令和3年12月	令和4年1月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.71倍 (+0.30ポイント)	2.74倍 (+0.03ポイント)	2.50倍 (▲0.24ポイント)

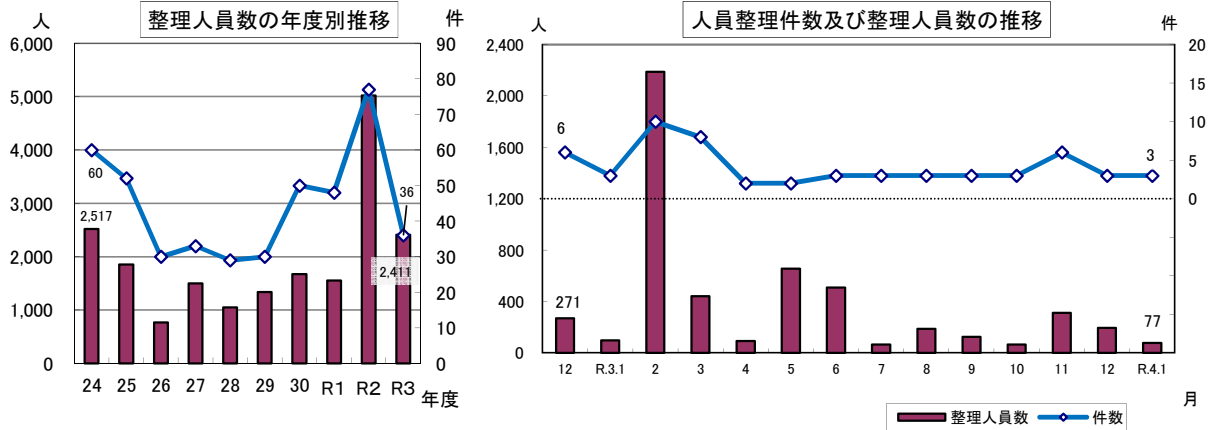
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和3年11月	令和3年12月	令和4年1月
件数 (前年同月比)	6件 (+ 1件)	3件 (▲ 3件)	3件 (±0件)
整理人員 (前年同月比)	312人 (+ 174人)	196人 (▲ 75人)	77人 (▲ 21人)

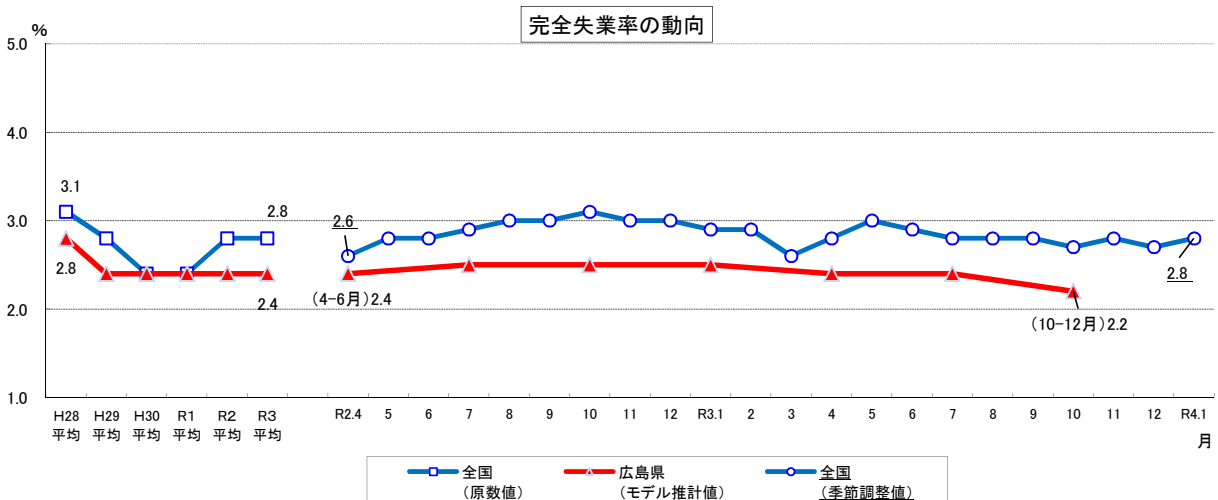


4 完全失業率の状況

区 分	令和3年11月	令和3年12月	令和4年1月
全国完全失業者数 (前年同月比)	182万人 (▲13万人)	171万人 (▲23万人)	185万人 (▲14万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.8% (+0.1ポイント)	2.7% (▲0.1ポイント)	2.8% (+0.1ポイント)

区 分	令和3年		
	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.4% (±0.0ポイント)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.2% (▲0.3ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。